

くめじま

# 議会だより

2022.9.1  
No. 81



久米島町議会



## 全国大会に行ってきました!!



**久米島初!**  
**ガールズ野球県選抜メンバー**

上写真左より 玉城 陽(仲小6年)  
棚原 日埜(仲小6年)・城間 心葉(比小6年)



### 6月定例会

定例会・臨時会で決まったこと

- ..... P2 ~ 3
- 町政を問う 一般質問 ..... P4~15
- 委員会レポート ..... P16~17
- 傍聴席より ..... P18~19
- 議会の動き・編集後記 ..... P20

久米島町の人口・世帯数 (2022年6月末現在)

男	3,974人	女	3,482人
計	7,456人	世帯	3,973世帯

## 報告

- 令和3年度久米島町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について  
繰越予定額 23事業 合計5億3,255万円
- 令和3年第8回久米島町議会定例会で議案第36号を持って議決された「清水第1地区排水路整備工事請負契約について」の一部変更の報告について  
契約金額中「74,800,000円」を「77,828,300円」に変更する。
- 令和3年第8回久米島町議会定例会で議案第37号を持って議決された「清水第2地区1号沈砂池設置工事請負契約について」の一部変更の報告について  
契約金額中「49,280,000円」を「52,350,100円」に変更する。



清水第1地区1号沈砂池

## 委員の選任・任命

- 久米島町固定資産評価審査委員の選任  
宮里 キミ子 氏
- 久米島町固定資産評価員の選任  
東恩納 則夫 氏
- 教育委員会委員の選任  
大城 秀文 氏

## 専決処分

- 地方税法等の一部を改正する法律が令和4年4月1日から施行されることに伴い、久米島町税条例等についても一部を改正し同日から施行する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認め専決処分する。

# 定例会・臨時会で決まったこと

## 6月定例会

令和4年6月（第5回）定例会は、6月29日から7月1日の3日間の日程で行われ、議案3件、報告3件、同意3件、承認1件を審議した。12人が登壇し一般質問が行われた。

## 令和4年度補正予算



- 一般会計補正予算（第1号）  
84億9,041万円（3億6,098万円増）

## 条例の改正



- 久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例  
沖縄振興特別措置法等の一部を改正する法律及び関係法令の施行に伴い、固定資産税の課税免除の適用期限を延長する等、所要の規定の整備を行う必要がある。
- 奥武島キャンプ施設条例の一部を改正する条例  
奥武島キャンプ施設の使用料について、利用実態及び提供するサービス内容に即した料金形態に見直す必要がある。



奥武島キャンプ場

## 副町長の選任



●副町長 中村 幸雄 氏  
なかもら ゆきお  
出身：字大田  
昭和37年12月10日生（59歳）

### 《学歴・職歴》

- ・沖縄県立久米島高等学校卒業
- ・具志川村教育委員会採用
- ・久米島町役場プロジェクト推進室 室長
- ・久米島町役場企画財政課課長
- ・久米島町教育委員会教育長

## 教育長の選任



●教育長 宇江城 諄 氏  
うえしろ あきら  
出身：字真謝  
昭和36年9月12日生（60歳）

### 《学歴・職歴》

- ・明星大学人文学部心理教育学科 卒業
- ・比屋定小学校 他2校 教諭
- ・前田小学校 教頭
- ・曙小学校・オーストリアウィーン日本人学校 校長
- ・県教育庁 指導主事・人事係長・主幹・人事管理官・課長・参事

## 久米島町監査委員の選任について



- 監査委員 高嶺 悟 氏

## 第4回臨時会

会期：令和4年  
5月23日

## 条例の改正



- 久米島町の給与に関する条例等の一部を改正する条例  
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告、国及び沖縄県の職員の給与の状況等を考慮し、久米島町の職員等の給与を改定する必要がある。
- 久米島町ふるさと寄付金積立基金条例の一部を改正する条例  
地域再生法第13条の2の規定に基づく法人その他団体からの寄付金を受け入れ、又はこれを基金として積み立て、久米島町の振興を推進する事業に要する経費に充てるため、久米島町ふるさと寄付金積立基金条例の一部を改正する必要がある。



企業版ふるさと納税第1号  
【(株) 沖縄ダイケン様】

## 動産の買入



- 救助工作車  
契約の方法 指名競争入札  
買入価格 112,728,000円  
契約の相手 新沖防災工業株式会社



イメージ写真（購入予定車両と同型車）



翁長 学 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

一般質問の記事では、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。  
※ここでは年号（令和）を省略しております。

**問** 水質保全対策事業は

**答** 流出防止効果あり



**問** 宇江城地域では、水質保全対策事業が行われている。第1、第2、3地区の事業が終了、赤土の流出はどうなっているか。

**答** 勾配抑制等の対策を講じ、高い流出防止効果があると実証されている。

**問** 目に見えるように赤土の流出は止まっている。第1地区において、反対者の地権者がいて、一部取り残された圃場があり、赤土が流れている。再度県側に要請できないか。

**答** 補助事業の性質上の問題があり非常に難しいという回答。県に引き続き要望しながら町として何かできないか検討する。

**問** 第4地区の今後の流れは、4年3月に地権者に説明会を開き、その中で以前の工事を終えた圃場では、出入り口がまずいと言つ意見があったので要望も確認しながらお願いしたい。

**答** その詳細については、今後十分に検討可能だと思つ。

**問** 畑かんの整備もできないかという声もあった。

**答** ハードルは高いが、積極的に事業展開できるように頑張つていきたい。

**問** 園舎の利用を  
**答** 考えてない

**問** 本町の幼稚園が統廃合されて、比屋定幼稚園舎が利用されていない。地域の活動に利用できないか。現在の園舎の状態はどうなっているか。

**答** 統廃後利用されず、シロアリの被害により改修が必要。

**問** 各字でサロン活動が行われている。宇江城公民館でも実施され、比屋定からの参加者を集めると学校の園舎の方がいいと言つ提案がある。

**答** 現在18カ所の公民館でサロンを実施している。1日約20名前後の参加者がいる。比屋定幼稚園園舎の活用は考えていない。

**問** デイサービスになると大きな施設になり、宅老所という



勾配修正後の宇江城地区農地

小規模ではできないか。  
**答** 介護サービスを利用される方々は増えている傾向でどの事業所も、介護職員の確保に苦慮されている状況である。新規事業を展開できるか、介護の関係者、事業所の意見を聞きながら検討したい。



有効利用が提案された園舎

**要望** 幼稚園、中学校も統廃合された。今残されているのは小学校で後々、統廃合が出てくると思う。小学校もなくなってしまうと衰退してしまう。サロン、デイサービス、学童など地域で活用できる方向性で行っていただきたい。



東江 浩明 議員

## 問 新型コロナウイルス感染状況と今後の 取り組み方針は

## 答 個別接種の実施と4回目接種取組に向け医療機関と協議



**問** 本町の感染者の数が毎日のように発表がある。ワクチン接種の現状確認は。

**答** 1回目、2回目接種率が80%以上、3回目に関して62%台にとどまっている。

**問** 3回目接種の低さの原因は把握出来ているか。

**答** 年齢が若いほど副反応の出現頻度が多く見られたことによる控え、12歳から17歳までの若年層の接種率が42%と低いため、結果3回目接種率を押し下げている要因と考えている。

**問** 小児接種は、対象年齢が5歳から11歳、接種回数は2回。12歳以上は3分の1と聞いているが接種状況は。

**答** 対象者数が526人、1回目184人(34.9%)、2回目154人(29.3%)となっている。接種率が低い理由に保護者の副反応への懸念などが考えられる。個別接種、予約制で久米島病院にて随時行っている状況。

**問** 妊婦のワクチン接種、全国

80%、沖縄68%、20〜30代全国80%、沖縄71%全国平均を下回っている。本町の状況は。

**答** 集計はしていない。妊娠中、授乳中の方も安全性が認められているので、しっかり接種されているものと理解している。

**問** 4回目のワクチン接種の対応時期と対象年齢は。

**答** 対象者は、3回目接種から5か月以上経過している方、60歳以上の方、18歳から59歳までの方で基礎疾患を有する方や重症化リスクが高いと医師が認める方が対象。集団接種は、8月下旬ごろ、改善センターで実施する予定で調整中。

**問** 観光関連、今後の本町内イベント予定は。

**答** 10月23日久米島マラソン大会は制限を設け開催し、ふれあいパーティーは見送りで準備中。町まつりは、綱引きの状況を踏まえ11月5、6日に開催予定している。

## 問 豪雨災害対策の現状と今後の対応は 災害に対応した防災 対策計画普及に 取り組む

洪水被害は無く、今年度、地域防災計画の改定と防災マップの改定を予定。その中でハザードマップ作成が可能か検討していく。

**問** 大雨が降り、農道から溢れて牛舎の中に流れ込む場所、また畑に流れてしまった情報は。

**答** 集中的に降った場合に畑に流入する箇所、また、畑から道路へ流出箇所の連絡があり、現場確認している。

**問** 冠水箇所、町としてのハザードマップ作成は出来ているか。

**答** 津波被害、津波と高潮、土砂災害区域のハザードマップはあり、



雨水により冠水した農道



盛本 實 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

問 基本政策の中で重点施策は

答 人口減少への歯止めと海洋深層水事業の実現



問 基本政策の内容は前任者の政策を踏襲している感を拭えない。最も重点的に取り組もうとしている政策は。

答 施政方針は、すべての世代が生き生きと暮らせる「夢つむぐ島」づくりを基本として、第2次久米島町総合計画に沿ったまちづくりを推進していく。

問 第2次総合計画実施から既に7年も経過している。計画の達成率は。

答 検証結果として5段階のうち4・2だったと記憶している。

問 4・2はかなり高ポイントであるが、44施策の中で何が済んで何が遅れているのか。

答 町の置かれている状況を数値化し、第3次久米島町総合計画を策定する際にこれまで取り組んできたものがどういった数値まで達成できたのかを示すことができる。

問 本町が長年取り組んできた、重点施策の「海洋深層水事業」の今後の取り組みは。

答 3年度〜4年度にかけて防衛省の補助事業を活用し全体計画を策定し将来計画に向けて取り組む。



海洋深層水関連事業予定地域(真謝・宇根)

問 政策予算の計上は一般会計補正予算で3億6千万円の予算を計上している

問 全てが政策予算か。

答 町長が替わったということとコロナ交付金と当初予算で見送っていたものを今回政策的なものとして計上した。

問 3億6千万円の使途の具体的な説明を。

答 繁殖雄牛への飼料購入、次期作付け肥料、肥料購入、燃料価格高騰対策漁業者支援等々や、貨物運送業者原油高騰対策支援及び学校給食の無償化、幼稚園の給食支援、保育園の副食等々の支援である。

問 町民視点での町政運営とは

答 町民の立場に立つて、町民のために職務を遂行する

問 職員一人一人が地域行事に積極的に参加し町民から色々な意見を聞くことだと思いが、地域は公民館文化が根幹である。しかしながら、町職員は公民館行事への参加が少なくという声が多くある。その辺も含めて職員の指導を強くお願いする。

答 職員の仕事に対する心構えとして、町民の立場に立つて町民のために何ができるのか、何をすべきかを念頭に置き職務を遂行してもらいたいと考えている。そのためには職員一人一人が地域行事に積極的に参加し、町民からいろいろな話を聞いて政策に生かすことが重要である。

問 時節の節目における独創的な政策は前町長の事業を継承し、選挙公約、第2次久米島町総合計画の推進に取り組む

問 今年には沖縄県や久米島町においては大きな節目の年である。その時節の流れをつかむというのもリーダーとしてのひとつの資質であると考えて。観光協会から「観光元年」という大きなテーマを掲げても良かったのではないかと意見もあったと思うが。しかし町長は町民の意見を聞きながら、前町長の事業継承、選挙公約、第2次久米島町総合計画の推進において「全身全霊」をかけてやると言っている。なので大いに期待する。

答 「全身全霊」をかけてやることに間違いはない。独創的な件については、現在、包括連携協定を締結しているJTA又はRACからアドバイザーとしての招聘を考えている。



真栄平 建正 議員

## 問 人口減少対策は子育て支援が最も重要

## 答 子育て支援、女性サポートの施策を検討する



一般質問 — 町政のこころを問う

**問** 人口減少の要因は。

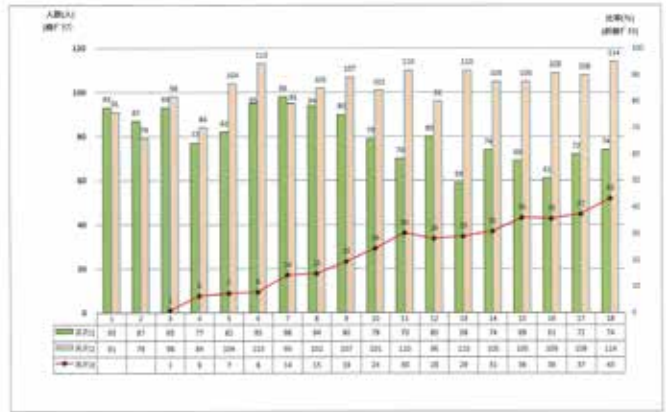
**答** 人口減少は1990年をピークに減少を続けており、その主な要因は転出が転入を上回る社会減である。

**問** 人口動態調査によると15年前までは人口減はほぼ100%社会減。しかし、徐々に自然減の比重が大きくなっている。出生数の減少が人口減少の主な要因では。

**答** 社会減は一時期より落ち着いてきた。何故出生が増えないのか掘り下げて考える必要がある。

**問** 平成18年度95%が社会減、自然減5%であったが、令和3年度は57%が社会減、自然減43%となっている。統計的数値に基づいた政策施策立案が必要。人口減少対策は子育て支援、出産支援等の拡充を。

**答** 人口減少対策で成果を上げている自治体は、子育て支援等が充実していることを踏まえ施策を検討する。



人口減少分析

**問** 深層水事業の進捗は

**答** 4年度漁業施設と全体計画を策定し、事業採択に向けて国県と協議する

**問** 県から提示された課題と解決策は。

**答** 事業規模、取水量、事業費町負担、補助事業メニュー

の課題提示がある。各企業から必要量をヒヤリング中である。取りまとめ次第、事業規模、事業費を算定し、県と協議を行う。

**問** 久米島にとって重要な事業であるが、大きな財政負担がある。積極的かつ慎重に推進する必要がある。企業の必要量によって、計画取水量10万tの変動もあり得るか。

**答** 増減はある。企業の必要量を精査中である。

**問** バーデハウスの運営管理は

**答** 事業提案応募者がなかった。再調査、諸条件を整理し、再公募に向けて取組む

**問** バーデハウスは一般の公共施設とは違う。投資開発であるという視点が足りなかったのでは。

**答** 応募がなかった最大要因は投資の視点から、昨今の社会

情勢先行きの不透明性にある。今回の公募の課題を把握、解消し再公募に取り組む。

**問** 町民の健康増進、観光振興のための重要な施設である。再公募のスケジュールは。

**答** 課題の把握、検証のためのヒヤリング中でありスケジュールは示すことはできないが早急に進めたい。

**問** 出産助成金の増額を子育て、進学等の支援策を検討する

**問** コロナ交付金がなくなっても町単費で助成すべきでは。  
**答** 出産助成金(渡航費、滞在費)はコロナ交付金10万円を加算して25万円となっている。出産助成金、その他子育て世帯、小中高進学時の支援策も検討する。

その他の質問

- ・ 歯科診療所の早期再開を
- ・ コミ焼却施設の公正公平な発注を



幸地 猛 議員

一般質問——町政のこころを問う

**問** 前町長との事務引き継ぎと処分未了又は未着手事項、将来企画検討すべき事項は

**答** 未処理、未着手事項、実施方法、将来企画に対する方法、懸案事項等の意見を受け、今後の業務遂行に活かしていく



**問** 引き継ぎ書の受け止めは。  
**答** 中身を検討し、今すぐできるもの、一、二年かけてやらなといけないものをつかり話し合いをして、今後とも各課で取り組んでいく。

**問** 農林水産業の活性化での和牛産地の有利性を活かすとは  
**答** 本町は牧草地として他の地域に比べて面積が多く。粗飼料(牧草類)を島外から購入することなく自給飼料生産できること

**問** 久米島牛のブランド化は。  
**答** 石垣牛、もとぶ牛、伊江牛等子牛の産地がブランド牛を確立している。本町においても新たな特産品の創出とPRにもつながる為、ブランド牛確立の可能性を関係機関や有識者と検討しながら模索していく。

**問** 販路拡大に努めることとは。  
**答** JAと連携し、県内のセリ市場に出向き購買者へPRすることや生産農家及び販売頭数を増やすことで、新たな購買者が参入できるように努める。

**問** 母牛の増牛及び品質向上の取り組みは。  
**答** 沖縄振興特別推進交付金等を活用し、導入牛事業や保留牛事業を行うことで、母牛の増牛及び品質の向上に取り組んでおり、今後も継続して取り組む。

**問** 第12回全国和牛能力共進会出品へのこれまでの取り組みと今後は。  
**答** 本町の出品牛が、県の候補牛として選ばれていない。次回大会への取り組みは、久米島和牛改良組合やJA関係者と連携し、課題等を検証しながら取り組んでいく。

**問** 高速船の導入は、航空路線の拡充を含めて可能性を検討

**答** 討して行くところがあるがその取り組みは航路事業者が実施した調査報告書を基に検討した結果ジェットホイルは維持管理費が高額で、事業として採算性が見込めない結果となっており導入は厳しい。今後は入域観光客の増加を図る観点から、高速船だけではなく、航空機材の大型化や路線拡

充も含め、関係事業者及び関係課と情報交換や意見交換を行っていく

**問** 渚百選にふさわしいイーフビーチの維持管理について、予算措置をして定期的に取り組む必要があると考えるが。  
**答** 漂着物を除去してもまた漂着するなどイタチごっこの状況である。定期的に除去する仕組みを構築する必要性があるので関係課で協議を進めていく。



定期的な漂着物の除去が求められるイーフビーチ





赤嶺 秀徳 議員



## 問 歯科診療所開設は

## 答 実施設計業務に入っている



来年の開業に向けて準備中の歯科診療所

**問** 歯科診療所開設の進捗状況は。

**答** 旧診療所建物の体力調査で利用可能と判断、実施設計に入っている。

建物の状況に応じて作業が進むと思う。現在、アスベストの調査中である。含有が判明した場合、除去等の付帯工事等で時間を要する。医療機器の選定を進め、整次第購入手続きを進める。開業手続きは医師が進める。

## 一般質問 — 町政のこころを問う

**問** 開業予定は。

**答** 5年7月頃の見込み。

**問** 高速船導入は

**答** 採算が取れず無理

**問** 導入についての当局の見解は。

**答** 航路事業者が実施した調査報告書を基に導入委で検討した結果、維持管理費が高額で事業採算が見込めず厳しい状況である。

**問** 導入について結論は。

**答** 目的が入域観光客増から始まっており、観光振興の面で高速船ありきではなく観光振興事業の一環で多面的に議論する。高速船が駄目ではなく、その議論の中には高速船の話も入る。

**問** パークゴルフ場職員  
の指導は

**答** 施設は適正管理をしている

**問** 質問はゴルフ場職員の管理指導であり、月に何回程度の指示指導を行っているかという事である。

**答** 課長は月1、2回、担当職員は週1回現場に赴き激励を兼ねてミーティングを行っている。



オープン 10 年目を迎えるパークゴルフ場

**問** 指導は日誌等の書面で残しているか。

**答** 指導日誌は作成していない。今後はそこら辺をきちんと行って活用していきたい。

**問** 月例会の横幕も無く、盛り上がり欠ける。今後、横幕をかけることは可能か。

**答** パークゴルフ場の主催である。今後はそこら辺をきちんと横幕での大会周知等も行っていく。



富永 肇 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

問 人口減少の取り組みは

答 効果的な施策を講じていく



問 人口減少対策の取り組みを行ってきたが効果と検証を行ったか、今後の人口増減の傾向と対策は。

答 国立社会保障、人口問題研究所の推移に基づく予測値と実数値を比較する方法をとっている。2045年には4665人との推計である。移住定住相談窓口の設置や空き家対策に取り組みを行い平成28年から実施し178名の移住である。

問 子どもに力を入れた施策、若者が定住しやすい環境づくり、島民の満足度を高めるために給食費の無料化、保育園の副食と主食の無償化、高校生の医療費無償化、小中学校の進学する際に新たな助成金の創設などの取り組みは。

答 交付金を活用し給食費の無償を7月から2023年3月まで実施する。交付金終了後も給食費の減額、無償化などを検討し取り組む。出産助成金や子供の遊び場の充実。島でいろいろな教育を受けられる環境や

出産年齢女性が来やすい島づくりを担当課と協議し効果的な施策を講じていく。

問 商工、観光産業の活性化は

答 各種事業を実施、観光誘客対策の展開

問 観光振興の推進、経済の立て直しの具体的な対策は。

答 チーム久米島の各団体が連携し、島の有する魅力的な要素を観光に生かせるよう取り組む。交付金を活用し地域商品券の発行や各種事業を実施し地域経済の立て直しを図る。

問 コロナの影響は大きく従来の観光業は脆弱である。スポーツと観光のセットでの取り組み、大会の誘致や開催は観光誘客につながる。本町の施設、ノウハウも踏まえて野球がいいと思うが。

答 今後の観光は目的型の観光が主流になると予測。スポーツをしながら観光も楽しむと

いう目的型がある。施設の活用としては野球だと思つ。プロ野球を念頭に、全国的にPRしていく。

問 学校教育、学習環境は

答 学校の適正規模、適正配置を検討する

問 学級編成(複式学級)の状況と学校再編(小学校)の見解は。

答 小学校6校のうち3校に4つの複式学級が設置されており他は全て単学級である。児童生徒が集団の中で多様な考えの中、学び合い、認め合い、協力し合い切磋琢磨することで、一人一人の資質や能力を伸ばすことが重要である。適正な規模の確保が望ましい。学校の適正規模・配置及び学校の果たす役割の再認識の為に来月から検討委員会を立ち上げる。

問 学校再編に取り組むと理

解する。各小学校は特色があり、歴史がある。地域コミュニティの場でもある。統廃合ありきの検討ではなく多角的な意見を聞き、何が子ども達にとって良いのか、検討を要望する。

答 教育の観点から何が大切かということの方針を決め、各学校が、どのような状況か、学校数や規模が教育効果をより高めるかを考え検討する。



久米島野球場



棚原 哲也 議員



## 問 深層水取水量の拡大の進捗状況は

## 答 調査結果を基に全体計画を策定



**問** 調査から取水管の設置まで159億の額が出ている。担当課の説明を。

**答** 159億円は概算の事業費。実際の数字は今回の全体計画で詰めていく。

**問** 取水管大規模化の計画で示している生産額、雇用効果、人数は。

**答** 生産額80億、雇用効果は約千名程度見込んでいる。

**問** 取水管資材に外径1・5メートル、取水規模最大18万トンとあるが。

**答** 管径1・5メートル常時取水量は10万トン取水できる。

**問** 県が事業主体とならない場合は本町で主体となって事業を進める考えは。

**答** 裏負担、町の財源では厳しい。国、県主体で事業出来ないか協力的に調整し不可能であれば、民間企業も活用できないか検討していきたい。

一般質問 — 町政のこころを問う

**問** 学校給食センターの用地は

**答** テニスコートを含むその一帯

**問** 給食センター用地は改善センターの南側を予定と答弁あるが。

**答** テニスコートを含め用地交渉で取得した用地一帯である。

**問** クリーンセンターの整備状況は

**答** 8年度供用開始を予定

**問** 解体業務を4年6月契約締結としているが旧火葬場・納骨堂を解体し整地することか。

**答** 旧火葬場・納骨堂を解体する。

**問** 予算総額51億円を予定しているところだが、建築骨材の価格高騰で51億円がまだ増額の可能性もあるか。

**答** 資材高騰を受け、上がらないとは言いきれない状況にある。慎重に検討していきたい。



クリーンセンター建設予定地

**問** 認定こども園の整備方針は

**答** 7年供用開始で整備

**問** 昨年中央保育所とそらなみ保育所2カ所同時に整備すると答弁があった。同時並行で事業を進めて行くのか。

**答** 中央保育所、そらなみ保育所同時開所できないか、同時になく1、2年以内にするか、今年度方向性まで決めたい。

**問** 私立のなでしこ保育所は認

定こども園に合流、一緒にする計画はないか。

**答** なでしこ保育園に関しては、今のところ認定こども園化は考えていない。

**問** イーフビーチ、奥武島の保全を

**答** ハマヒルガオで砂の飛散防止の効果はある

**問** 奥武島海道路を桁方式に架け換えを。

**答** 桁方式になればと思ってる。県と調整したい。



一部海域が陸化した奥武島西海岸



新垣 幸子 議員

一般質問——町政のこころを問う

**問** 歯科診療の開業年月は

**答** 遅くとも5年の6月もしくは7月頃



**問** 仲里歯科診療所の体力度調査の結果は。

**答** 使用可能と判断された。

**問** 手続き及び検査の流れについていつまでに実施するか。

**答** 実施設計9月30日までの工期になる。改修工事は10月中旬ごろから3月20日までの予定。ただアスベストの調査結果次第では開業の時期も延びる。改修工事が整い次第、医療機器等の設置作業、検査、書類等の手続となる。

**問** 職員のさらなる意識改革とは

**答** 町民の意見を聞いて職務遂行すること

**問** 町民の立場に立って何ができるか、具体的な取り組みは。

**答** 地域行事に積極的に参加して、地域の声を聞いて仕事に生かしたい。職務会議や朝礼ですつと言いつづけていきたい。

**問** 真のトップリーダーは職員が自由自在に仕事ができる雰囲気を作ることが大事である。また、職員提案についての町長の見解は。

**答** 非常に大事なことであり、各課長に週1回課内会議で意見交換をし若い職員の意見を十分取り入れた方がよい。

**問** 三重県庁の様に職員意識改革のアンケートを取ってみては。

**答** 三重県のアンケートを基に、地域行事とかの項目を設けてできるような取り組みをやっていききたい。

**問** 民間企業への派遣についての町長の見解は。

**答** JTAと本町は地域包括連携を結んでいる。JTAは他の自治体と人事交流も行っている。その辺も含めて話し合いはこれから進めていきたい。

**問** ホタル館やホタルの会への予算や行政の役割は

**答** 2年から指定管理、活動を行っている

**問** 本町の自然財産であるクメジマボタルやキクザトサワヘビの保全、保護、そのための調査や展示においても必要な予算や行政の関りが重要である。また今後人口増加を促し、産業、観光、環境、教育などの発展のためには世界の中で久米島にしかないクメジマボタルやキクザトサワヘビの生息する自然環境の優位さを利点に捉え国立公園（ナショナルパーク）構想を推進していくことが先決である。よって、今後は後継者育成についても大変重要になってくる。また、指定管理団体としても料をこえた事業団体、業務内容であり、本来の姿、行政機関に戻すことを切に要望しいが見解を。

**答** 管理運営の予算については従前と同様の予算付けを行っている。重要性が高まって、

これ以外にも活動が必要となった場合、指定管理団体と意見交換し、その方法をやっていききたい。

その他の質問

・久米島町動物植物島外持ち出し禁止条例の制定について。



ホタルンジャーに認定された子ども達



県指定天然記念物のキクザトサワヘビ



喜久村 等 議員



## 問 認定農業者を

## 答 推進する



### 一般質問 — 町政のこころを問う

**問** 本町の認定農業者になるためには、どのような規定があるか。また、本町の認定農業者は何人か。

**答** 農業経営開始5年を経過し、年間所得310万円、年間労働時間2千時間以上、作付面積は規定がない。経営改善計画を作成し、達成が認められれば認定農業者になれる。本町の認定農業者は、37経営体である。

**問** 認定農業者を増やすには。  
**答** 国においても認定農業者には、重点的に支援を講じている。農業施策においては重要であることから、町としても認定農業者を増やすよう推進していく。

**問** 字字根農村公園の維持管理は

**答** 調整する

**問** 字字根で管理している。年2回の草刈り作業を行っているが維持管理が困難になって

いる。町からの応援は出来な  
いか。

**答** 島内には農村公園が15カ所あり、各地域で管理している。今後も各地域で管理していくよう調整していく。

**問** 農林水産業の活性化を

**答** 農家支援する

**問** 付加価値の高い新規作物の導入、またはビニールハウスの導入も取り入れたら。

**答** 高付加価値作物に取り組み農家も徐々に増加しており、将来的に生産拡大が見込まれ、島の活性化に繋がるような農作物で、ハウス栽培を活用した農家支援を行っていく。



地域の高齢化により管理が不十分となった農村公園



宇江原 総清 議員

一般質問 — 町政のこころを問う

**問** 鳥島射爆撃場の早期返還を

**答** タイミングで意見交換



**問** 台湾有事は沖縄が狙われる。関連の質問をする。①ジョン・ミッチェルが沖縄タイムスに掲載した鳥島の放射性物質汚染をどう捉えるか。②嘉手納弾薬庫に40万発保管のウラン弾を使用された場合の対応。③本町へミサイル基地が計画された場合の措置。④台湾有事で戦争になった場合の住民の保護は。

**答** ①は、関係機関に照会しているが、確認できていない。②は国の専権事項である。③は断固反対。④は町国民保護計画に基づき避難対策する。

**問** 口頭で10年も回答できなければ配達証明で。又、沖縄タイムス掲載の文書は真正銘のアメリカの公文書だ。うそとだましの行政を続けるのか。

**答** 早く結果を出したい。

**問** 町民を結集した鳥島射爆撃場早期返還総決起大会を開催するのか。

**答** いつのタイミングで行うのか意見を交換したい。

**問** 自然再生と国立公園構想は環境省と連携したい

**問** ①銭田川の三面コンクリートの工法に関し、県南部農林土木事務所長に抗議した。何故コンクリートにしたか。県側は住宅に近いこと。地権者の同意は得られないと回答。私は反論。うそとだましの行政はやるなど。法律等を守るべき公務員が法を破るのか。加えて、所管は県だが住んでいるのは我々だ。法に則りボトムアップしてくれ。工事計画の際は我々に事前に相談すること。県側はこれを了承した。町長もうそとだましの行政を引き継ぐのか。②自然再生を進めることが国立公園認定を容易にし、建設事業も国のダイレフトな予算を取れることになる。また、三面コンクリートは海を枯らす。ウミガメの異常発生対策も伺う。



三面コンクリートの銭田川

**答** ①は、浸水被害抑制のための整備。②は、環境省と連携し、状況把握に努めたい。ウミガメの異常発生やその状況が分かっている。把握に努めていきたい。

**問** バーデハウスの閉館は開館当初から厳しい状況が続いた

**問** バーデハウスを北朝鮮出身者に売却しようとしたか。

**答** 売却しようとした事実はない。

**問** 「久米島リゾートプロジェクト実現に向けて」という文書がある。それに関連し、町長はその社長と会ったことはあるか。

**答** 複数の企業がバーデハウスに興味を持ち、その中の1社が提案資料を持って来た。その部長が久米島に何回か来て、担当課長と議論し、この資料が出来た。

**要望** その会社と9千万円負担とかの記録がある。私が心配しているのは、北朝鮮が今年ミサイル発射実験に要した費用は870億と報道がある。経済制裁を受けている。報道ではIT技術者等からの支援だと言う。事程左様にそのミサイルが我々のところに跳ね返ってこないか心配である。町長には慎重な対応を求めている。



喜久里 猛 議員



## 問 キバナノヒメユリの保存は

## 答 天然記念物として検討



一般質問 — 町政のこころを問う



絶滅危惧種のキバナノヒメユリ

**問** 絶滅危惧種に指定されているキバナノヒメユリは、数人の町民が大切に保存している。行政としての取り組みは。  
**答** 県内では久米島・沖繩本島・渡名喜島でのみ生息が確認されている数少ない貴重な植物である。本町でも3カ所の生息場所が知られていたが、昨年度は確認が出来なかった。今後調査を継続し、野生状態での生息が確認できれば天然記念物と

して保存を検討したい。

**問** 農産物肥料の大幅値上げは

**答** 国や県の動向も踏まえて対応したい

**問** JA久米島支店が6月頃大幅値上げを予定しているが、国の施策は何月に適用されるか。

**答** JA久米島支店では、6月未までに販売価格を据え置く。

化学肥料の高騰分は、国は7月の参議院選後に編成される補正予算案に盛り込まれるとの報道がある。国や県の動向も踏まえて対応したい。

**問** 新しい伝統行事の創設は

**答** 地域活性化につながる行事の創設を検討

**問** 本町が合併して20年を迎える。これを機に町を代表する伝統行事の創設は出来ないか。

**答** 地域の行事が果たす役割は非常に大きいものであると考える。地域活性化につながる行事の創設は、民俗芸能保存部会を含め関係団体と意見交換しながら、取り組んでいきたい。

その他の質問

・町道の一時停止線について

QRコードを読み取ると、一般質問の内容が全て聴くことができます！

(※音声配信は1年間です。)



一般質問の音声をYouTube(外部サイト)により配信しています。各議員のQRコードを読み取り、ぜひお聴きください。

# レポート

活動の様子を  
見てみよう！



## A 議会では定例会や臨時会のほかにも 委員会活動や議会活動を行っているよ！

### ■ 建設・経済委員会

継続審査となっている陳情および6月定例会で付託された陳情について、審査・審議しました。

- ・継続審査の「令和3年陳情第15号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入中止を求める陳情書について」は、制度勉強会や関係機関との情報交換も行いながら審査・審議を重ねましたが、結論に至りませんでした。

また、「陳情第6号 山羊牧場について」は、陳情内容について情報収集や調査が必要との意見でまとめ、継続審査することとなりました。

- 「令和3年陳情第15号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の導入中止を求める陳情書について」

**結果 ⇒ 審議未了**

- 「陳情第6号 山羊牧場について」

**結果 ⇒ 継続審査**



会議の様子

### ■ 総務・文教・民生委員会

6月定例会で付託された陳情について、審査・審議しました。

- ・陳情内容について、情報収集や調査が必要との意見でまとめ、継続審査することとなりました。

（6月定例会での付託陳情）

- 「陳情第8号 コロナ特例減免における国費10割負担の復活と市町村における国保（料）負担軽減のための支援を求める陳情書」

**結果 ⇒ 継続審査**

- 「陳情第9号 介護保険利用料原則2割負担化、ケアプラン有料化、要介護1・2の市町村事業への移行などの制度見直しの中止と、国庫補助を増額し介護保険料高騰を抑え、高齢者の尊厳と生活を守るよう介護保険制度の抜本的改善を求める陳情書」

**結果 ⇒ 継続審査**



会議の様子





ねえ  
教えて!

Q 議会って  
定例会・臨時会以外では何しているの？

## ■ 議員定数調査委員会

令和2年6月19日に正副委員長を互選し、委員会活動が開始されました。  
令和2年は5回、令和3年は7回、令和4年は2回、計14回の委員会を開催しております。

### = 主な活動として =

- ・令和2年10月8日に区長会と議会との意見交換会を開催
- ・令和2年11月17日に沖縄県市町村議長会事務局長を招き「議員定数について」の講話を開催
- ・令和3年4月1日に区長会と当委員会との意見交換会を開催
- ・令和3年11月16日に経済5団体と議会の意見交換会を開催
- ・令和4年1月17日に情報収集及び意見交換等について委員会を開催
- ・令和4年6月13日に今後の取り組みについて委員会を開催



会議の様子

その他、委員会として情報収集、意見交換、議論を重ねてきました。定数は議会の機能、活動において重要な要素であり、慎重に議論を進める必要があります。今後、専門家のアドバイス、提案を受け議会での議論を重ね結論を導いていきたいと考えております。

## ■ 広報特別委員会

議会活動を議会だよりなどで町民の皆様にお知らせします。  
議会だよりの編集や発行を行います。

### = 主な活動として = (令和4年4月～6月)

- ・令和4年5月6・20日 広報委員会開催  
(議会だより80号校正作業)
- ・令和4年6月1日 議会だより80号発行
- ・令和4年6月29日 広報委員会開催  
(議会だより81号作業スケジュール確認)



会議の様子

町民の皆様親しんで読んでもらえるよう各委員がアイデアを出し合い、少しずつですがリニューアルしています。今後も内容がわかりやすく、読みたくなる議会広報紙を町民の皆様へ届けられるよう、各委員・事務局共に頑張っていきたいと思っております。

# 傍聴席より



6月29日(水)から7月1日(金)に開会された本会議に、多くの町民の皆様や町役場新採用職員が傍聴に訪れました。いただきましたご意見、ご感想を紹介します。(一部抜粋)

●熱心な姿に感動しました。「島」を思うひとり・一人の集合体が議会の役割の一つだと思う。小さなことの積み重ねで「くめじまづくり」が実現できれば幸いです。

●発言者が立って発言すると、マイクとの位置が遠いので口の近くにマイクがくる工夫をしたほうが良い。中腰での発言は姿勢がきついです。

●議場内での配布、回収で構わないので予算審査などの資料を見せてほしい。審議の内容がさらにわかると思う。

●発言が聞き取りにくい。発言時はマスクをはずしてはっきり話してほしい。

役場職員の皆さん、議員の皆さんの活動の様子がよくわかりました。ありがとうございます。

●議会傍聴は初めてでしたが、これからの久米島(出産、新しい伝統芸能、認定こども園等々)について町民が思っていることを考える良い機会になりました。今後も気を引き締め、業務に励みたいです。

●新役職になった方には大きな刺激になったと思います。



●新町長体制の初議会ということでもいつもより多くの傍聴者が参加していました。12人の議員から40項目にわたる質問があり、熱意が伝わってきました。

●コロナ罹患者が増えてくる  
 昨今、予防接種の充実など  
 厳しい対応がせまられてく  
 ると感じました。

●歯科医院の建設は実現でき  
 てきましたが、町民の努力  
 すべきことも検討してほし  
 いと感じました。



貴重なご意見、ご感想  
 ありがとうございます。  
 今後の議会活動の参考に  
 させていただきます。

## 9月定例会議会の傍聴へ行こう!!

定例会は

9月5日(月)～9月12日(月)

開会予定

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。

※感染症予防の対策を行いながらの傍聴となり、傍聴人数の制限があります。

■令和4年5月 ■■■■■■

- 6日・広報委員会
- 13日・議会活性化委員会
- 16日・南部地区町村議会議長会臨時総会に議長出席
  - ・県土木建築部との行政懇談会に議長出席
- 18日・町村議会新任職員研修会
  - ・久米島商工会総会に議長出席
- 20日・広報委員会
- 23日・第4回臨時会
  - ・全員協議会
  - ・議会運営委員会
- 30日・全国町村議会議長会に正副議長出席

■令和4年6月 ■■■■■■

- 7日・久米島町文化協会定期総会に議長出席
- 13日・全員協議会
  - ・議員定数調査委員会
- 14日・大田昌秀先生顕彰事業期成会役員会に議長出席
  - ・久米島まつり実行委員会議長出席
- 22日・議会運営委員会
  - ・全員協議会
  - ・建設経済委員会
- 23日～27日
  - ・宮城県関係先議長訪問
- 28日・久米島町観光協会通常総会に議長出席

29日～30日

- ・6月定例会(一般質問)
- 29日・全員協議会・広報委員会
- 30日・総務・文教・民生委員会
  - ・建設・経済委員会

■令和4年7月 ■■■■■■

- 1日・6月定例会(一般質問)
  - ・総務・文教・民生委員会
  - ・建設経済委員会
- 7日・大田昌秀先生顕彰事業期成会選定委員会に議長出席
- 14日・子ども議会オリエンテーション(総務・文教・民生委員会)



子ども議会オリエンテーション

- 15日・東京直行便歓迎セレモニーに議長出席
- 20日・全員協議会
  - ・JTA社長、RAC社長表敬に議長対応
- 21日・JALパック会長表敬に副議長対応

表紙の写真募集します



議会だよりを町民により身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

今年のテーマは **町民の皆さんの顔(人物写真)** です。

募集内容

イベント、自治体や学校行事などの写真をお寄せ下さい。  
※必ず本人の承諾を得て下さい。 ※謝礼はございません。

詳しくは議会事務局まで



編集後記

梅雨は明けたもののコロナ禍で生活環境が一変したうとうと暑い日々、町民の皆様と分けご高齢の方々、子を持つ親御さん等も大変な気苦労をなさっておられるものご推察いたします。

コロナウイルスという見えない敵との戦い、ワクチンが開発されそれを接種し、それでも私たちは自分で身を守る対策と努力をしなければならぬと思っています。大変な時ではありますが、全ての町民が一致団結してコロナに対峙しなくてはならないと思います。

さて、議会では6月議会も終了し、今後は常任委員会、特別委員会活動へと推移してまいります。

私たち広報委員会では、6月議会やその他の議会の流れ(活動)等を議会広報誌(議会だより)の作成に取り掛かっています。町民が読みやすくわかりやすい親しみのある紙面を目指して、他議会での研修を重ねてきました。この研修で学んでリニューアルした広報誌が「議会だより80号」です。今後も親しまれる紙面づくりに努力してまいります。

広報委員 (亦領 秀徳議員)

- 棚原 哲
- 赤嶺 秀
- 宇江原 建
- 宇原 隆
- 富永 肇
- 真栄平 正